

藤枝市中心市街地活性化協議会 会議録

会議名	平成27年度第1回藤枝市中心市街地活性化協議会
日時	平成27年4月30日(木) 10:00~11:00
場所	藤枝商工会議所 4Fホール
出席者	<p>会 長 小林正敏</p> <p>副 会 長 朝比奈 潔</p> <p>委 員 栗田隆生、八木重樹、秋田弘武、萩原正行、寺島雅之、 北島多喜子、仲田和好、栃本英雄、鈴木寿幸、池谷 脩、青島勝弘、 石原侑典、鈴木福一、横山敦史(代理)、渡辺哲朗、田口敏行、 井田久義、渡邊芳隆</p> <p>委任状出席 飯塚 正、鈴木健夫、名倉順二</p> <p>オブザーバー 藤枝警察署 渡邊崇彦、石川武男 静岡県交通基盤部都市計画課 遠藤佳之 静岡県経済産業部商業まちづくり室 宮崎清子、神谷智美</p> <p>藤枝市中心市街地活性化推進室 室長 増田政巳 係長 齋藤栄一郎 松浦洋平</p> <p>藤枝市商業観光課 課長 幸山明広 係長 青嶋和徳</p> <p>(株)まちづくり藤枝 水江志麻、新村衣代</p> <p>藤枝商工会議所 事務局長 杉浦 衛 課長 加藤久芳 八木明日香、久保田一輝</p>
内 容	<p>(1) 第2期藤枝市中心市街地活性化基本計画フォローアップ報告について</p> <p>(2) その他</p>
会議の経過	<p>加藤課長の司会により開会</p> <p>始めに、小林会長より挨拶、栗田副市長より挨拶があり、所属団体の役員改選等により、新たに委員になられた方の紹介を行った。</p> <p>§ 新たに委員になられた方</p> <p>藤枝市副市長 栗田隆生</p> <p>青島第6自治会長 池谷 脩</p> <p>青島第2自治会長 青島勝弘</p> <p>(株)まちづくり藤枝 代表取締役専務 栃本英雄</p> <p>§ 異動等による交代</p> <p>藤枝市建設部長 八木重樹</p> <p>藤枝市産業振興部長 秋田弘武</p>

しずてつジャストライン(株) 石原侑典

§ オブザーバーの交代

藤枝警察署長 伊藤喜章 (欠席)

次に、出席者 20 名、委任状出席者 3 名、計 23 名であり、本日の協議が成立していることを告げ、会議の議長を協議会規約に基づき小林会長に依頼し、会議に入った。

(1) 第 2 期藤枝市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ報告について

藤枝市役所中心市街地活性化推進室齋藤係長が資料に沿って説明を行った。

○第 2 期中心市街地活性化基本計画の概要

73 の事業のうち完了・着手済が 61、未着手が 12。

「来る人住む人充実満足 営みあふれ持続可能な“生活・交流都心”」をテーマに、3 つの目標および指標の数値と分析をもとに今年度の取り組みを行っていく。

目標 1 人々が活発に活動・交流し、にぎわうまち 指標 1 歩行者通行量

目標 2 志太榛原地域の核となるまち 指標 2 従業者数

目標 3 安全・安心に生活が完結し、持続するまち 指標 3 居住人口

○平成 26 年度成果指標の数値と分析

・歩行者通行量

歩行者通行量が昨年度に比べ 187 人減少。特に BiVi 藤枝南側の交通量が減少しており、空きテナントの増加などが要因として挙げられる。今後は国際観光ホテルや、伊勢丹のオープンにより、人の流れが生まれるものと思われる。市としてもソフト事業の充実等、増加に向けた取り組みをしていきたい。

・従業者数

従業者数は 2 年連続で増加しており、法務局藤枝出張所の移転や、介護施設の増加が要因として挙げられる。今後は法務局の支局昇格や国際観光ホテルなどの立地により、さらなる増加が見込まれる。

・居住人口

昨年度からさらに 181 人増加しており、最高値を記録。分譲マンションなどの販売が好調で、現在建設中のマンションの完成などにより、今後も増加が見込まれる。

・宿泊客数

昨年度に比べ大幅に増加 (8,189 人増)。カインズモールオープンに伴う工事関係者や中国等からの観光客の宿泊によるものだと考えられる。今後も増加の見込み。

・公共施設利用者

昨年度に比べ 62,592 人増加。県武道館で伊勢丹のバザールやプロバスケットボールの試合を開催されたことや法務局藤枝出張所の移転による要因が大きいと思われる。今後も増加が見込まれる。

○その他の効果

全用途の公示地価上昇率で初めて県内トップを記録。商業地の上昇率 2.1%は県内断トツで、1期計画からの持続的な取り組み、ハード、ソフト両面からの仕掛け、民間による投資、土地取引の促進から価値が上がったと思われる。各新聞・テレビでも取り上げられ、注目を集めている。

○今後の主な事業

・駅前1丁目8街区再開発事業

2階建ての商業・医療棟、デイサービス施設等も入った高齢者棟、子育て支援施設を備えた17階建ての住宅棟、バス待機スペース付きの6階建ての駐車場棟を配置。解体工事着手は平成27年10月頃、建築工事着手は平成27年12月頃、事業完了は平成29年頃を予定。

・タウンプロモーション事業

藤枝市中心市街地を「訪れたいまち駅南」、「住みたいまち駅前」、「めぐりたいまち青木」の3つのエリアに分け地域の魅力づくりを推進。今年度は市外に向けてもエリアブランドを発信していく。

・駅南口B街区複合施設設備事業

11月～3月にかけてホテルオーレ、MIPLAZA、ブライダル施設をオープンする予定。国際観光ホテルとの位置づけで空港アクセスバスとの相乗効果をもたらす。

・街なかコンシェルジュ

子育てにやさしいまちづくりを推進するため、子育て中の母親が街中でリフレッシュできる体験型のツアーを実施。今までよりグレードアップさせ、子育てにやさしいまちという印象を強めていく。

説明終了後、小林会長より、質問・意見を求めた。

(藤枝警察署石川氏より)

1・8街区再開発にともない付近の踏切の整備予定はないのか？現状では大型車は通れないし、混雑している。

(増田室長が回答)

今のところ計画はない。

(仲田委員より)

目標結果を見るとかなり良い成果指標の数値が出ている。駅南はホテルオーレのオープンで沸いているが、一方では近隣事務所の撤退やBiVi藤枝の空きテナントも目立っている状況であり懸念している。一方は栄え、一方は衰退している中、実感として全体の活性化には至っていないように思う。

(増田室長が回答)

BiVi藤枝についてはテナント進出の動きが出ていると聞いている。今年度はアンケート調査等を通して市民の実感についても調査を進めていく。

(寺島委員より)

1-8街区の駐車場は居住者の駐車場になるのではないかと駐車場の出入り口の渋滞の懸念もある。また、商業施設についてどのようなスケジュールで進めているのか。そしてそういった情報は一般の人はどうのように知ることができるのか？

(増田室長が回答)

居住者の駐車場は1戸1台を想定している。現在の駐車場は定期を含めて80台の収容台数だったが、計画中の駐車場は200台以上なので今より余裕がある。商業施設は再開発組合で進めていて、区域内の商店が入るかどうかなを含めまだ決まっていないが最終調整に入っているようだ。踏切付近の混雑については、スムーズな通行ができるよう、警察や県と協議していく。地元の方々には2回説明会を組合が行っているが、今後もそういった形で情報発信をしていき、一般の方へは内容が決まり次第情報発信をしていく予定である。

(2) その他

齋藤係長よりその他の説明があった。

アーバンクリエイティブ施設整備事業は、現在「国の支援のないその他の事業」にあり、経済産業省の補助を受けるための要件として、公募申請前に事業を「認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業」に移動させておく必要がある。計画の変更としては、場所の移動だけなので書面審議として、会議は設けないこととする。

<各委員より意見や情報交換等>

(北島委員)

昨年駅前商店街はサッカーに関するイベント等を色々やってきた。今年は花回廊とサッカーの事業で協力していきたい。

(仲田委員)

駅南が活発に活動しているが、実際は厳しい。オーレ藤枝、アピタ、県武道館、BiViがスクラムを組んで人を集めようとしている。月に1度駅南連絡協議会を開いているが、年々取り組みが弱くなっている。

(栃本委員)

まちづくり会社では2月より8街区再開発の事務局を受け持っているので積極的に情報発信をしていく。9月から11月を中心にて～しゃばストリートを開催予定。ホテルオーレオープン後に春のて～しゃばストリート開催も考えている。今後収益事業も考えていかなければならない。

(渡邊委員)

歩行者通行量について歩行者の通行目的まで掘り下げてみるべきで、商業にプラスになっているかどうかまで教えてほしい。

(青島委員)

再開発地区付近の踏み切りは夕方かなり渋滞している。その上、新たに駐車場ができるとなると、さらなる渋滞が懸念される。東側に歩道を作ることをお願いしているが、費用がかかることなので期待できない。

(池谷委員)

青木中央公園のところにマンションを建てているが、今後人の動きがどうなるか心配と期待がある。

(鈴木委員)

フォローアップの説明がわかりやすかった。ハード面は順調なようなのでソフト面の充実が今後の課題であると思う。駅前商店街北島理事長が言うように花を使ったプロモーションはいいと思う。

(石原委員)

路線バス事業は年々1.4%程度減っている。空港アクセスバスについては、インバウンドを含めて活性化を考えていきたい。

(鈴木委員)

中心市街地のエリアロゴマークをタクシー全車両に貼付け、協力している。

(横山委員)

9年前に駅支店で働いていた。青木に移転して戻ってきたが、人口が増え、藤枝のまちはこの9年ですごく変わってきたと思う。

(渡辺委員)

空港アクセスバスは6月下旬くらいから運行開始する。課題としては、発着所が駅南のため観光案内所がない。南口にも出張所かなにか設置しなければならないので、市と協議していく。観光宿泊者を増やしていきたい。

(田口委員)

第2期をむかえ、全体的にはうまくいっている印象である。8街区再開発にも期待している。不安なところは①BiVi 藤枝の集客②市民体育館の2点。空きテナント、撤退についてフォローがない。とくに BiVi 藤枝は大きな課題であり、行政にどういった手が打てるかを検討すべきと思う。市民体育館について、利用率は何年見ても上がっていないし、エリア全体でもスポーツの盛り上がりの改善が必要ではないか。

(井田委員)

8街区の説明の中で高齢者・商業・医療施設についての話があった。福祉団体としては情報を共有していただきたい。情報発信はどのように行っていくのか？

(増田室長が回答)

内容が確実になった時点で発信していく。

(寺島委員)

来年度には商工会議所青年部関東ブロックが控えており、3000名が藤枝に集まる。藤枝市をアピールするチャンスである。8街区は間に合わないが、柔軟な対応をお願いしたい。

(萩原委員)

商工会議所は市とともに創業に力を入れていく。9月3日、4日に第3回目となるシニア草サッカー大会を開催。宿泊等に貢献している。

(朝比奈副会長)

未着手の12事業は何か？また、西友が撤退し、生鮮食品を買うところなくなってしまう。買物難民への対策はあるか？

(齋藤係長が回答)

未着手事業については次のとおり（平成26年度末時点）

- ・藤枝駅南口周辺道路無電柱化促進事業
- ・藤枝駅南口周辺道路移動円滑化促進事業
- ・藤枝駅青木線移動円滑化促進事業
- ・市道2地区140号線交差点改良事業
- ・駅北口駐車場整備事業
- ・藤枝駅前一丁目8街区医療モール整備事業
- ・藤枝駅前一丁目8街区高齢者支援施設整備事業
- ・もったいないポイント事業
- ・シティドレッシング事業
- ・藤枝駅南アーバンクリエイティブ施設整備事業
- ・静岡空港アクセスバス交通誘導事業
- ・街なかスマートムーブ事業

(増田室長が回答)

西友は撤退後速やかに解体作業に入る。市としては引き続き商業施設の出店をお願いしている。生鮮食品については、8街区の施設内に設ける予定であると組合から聞いており、市からもお願いしている。

以上